

尾張津島天王祭

7月23日(土)
7月24日(日)

時代絵巻を見るかのような荘厳華麗な川祭り



7月23日(土)・24日(日)の両日、「尾張津島天王祭」が天王川公園を中心に盛大に行われます。

津島神社の祭礼として600年近く続くこの祭りは、大阪天満宮の天神祭、広島厳島神社の管絃祭と並び日本三大川祭りの一つに数えられ、尾張津島天王祭の車楽舟行事が国の重要無形民俗文化財(昭和55年)に、車楽が県の有形民俗文化財(昭和59年)に指定されています。また、文化庁よりの「ユネスコ」無形文化遺産登録に向けた提案がなされている

国指定重要無形民俗文化財の「山鉦屋台行事」※13件の祭礼行事の一つとしても、登録の可否に関する審議が行われる今秋、登録決定の吉報が届くことを心待ちにしているとマコです。

※地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人が一体となり執り行う「山鉦屋台」の巡行を中心とした祭礼行事

天王祭の変遷

「津島祭」「天王祭」「提灯祭」「船祭」などさまざまな呼び方がされる尾張津島天王祭のはじまりは室町時代末期、津島を分断するように北から南へ流れ

ていた天王川を中心に行われるようになったと伝えられています。

現在丸池となっている天王川は、木曾川の分流、佐屋川の支流で、天明5年(1785)に上流からの土砂の堆積で川口がふさがれ、明治34年(1901)には佐屋川の締切り工事が完了し現在のような池になりました。

祭の由来には諸説あり、南北朝時代津島に逃れてきた良王親王(後醍醐天皇の曾孫)を守る津島の十一党(四家七名字)の武士が、北朝方の武士を船遊びに誘い出して討ち取ったという説、津島神社の「神葭流し」の神事をもとにした説などがありますが、その起源は定かではありません。夏の酷暑を無事に過ごすことと祈念する私たちの祖先が、疫病除けを神に祈る古い信仰から、民衆のまつりとなって発展してきたと言われています。

3カ月にわたる大祭「天王祭」

陰暦6月14日(宵祭)、翌15日(朝祭)を中心として3カ月間にわたって行われてきましたが、昭和38年から7月第4土曜日、翌日曜日を中心に行われるようになりました。



▲まきわら舟には約500個の提灯を飾る

▲朝祭の車楽舟

▲宵祭のまきわら舟



▲池に飛び込む鉾持



▲5艘のまきわら舟



▲稚児奏楽

天王祭というと、宵祭と朝祭を思い浮かべる方が多いと思いますが、天王祭全体の中での一部に過ぎません。

天王祭の祭事は、①津島神社行事、②市江車行事、③津島車行事の3つの祭事からなっています。

①の津島神社行事は、神葎神事を中心としてさまざまな神事が行われます。1年間本殿内に奉った神葎に人の罪や穢れを託し流す「神送り」と、新しい神葎を迎え奉る「神迎え」を行い神威の高揚を図る神事です。

②の市江車行事と③の津島車行事では、宵祭や朝祭に向けて斎竹立などの行事が行われます。

津島車では宵祭の前夜、稚児打廻が行われ、正装した稚児行列は、露払いを先頭に車屋を出発し、車河戸で船上奏楽の後、5人の稚児が神社の拝殿前で3周ずつ打ち廻しを行い、稚児奉仕の奉告と祭の無事を祈り、翌日の宵祭に備えます。

幻想的な宵祭

23日に行われる宵祭は、津島五車のまきわら舟の屋形中央高くに真柱を立て、一年の月数、その下に半球状に一年の日数、正面にひと月の日数の提灯や絹灯笼など、一時間半かけて約500個の提灯を飾ります。5艘の舟は津島楽を奏でながら、車河戸から松林越しに提灯の灯りを見え隠れさせ、ゆっくりと丸池に姿を現します。ゆらゆらと川面に伝統の灯を映しながら、御旅所ま

で5艘が並び漕ぎわたる様は、幻想的です。御旅所に着岸すると各車の車屋役は、津島神社から移された神輿に礼拝した後、車河戸へ戻り、提灯を下ろし朝祭の準備を深夜までかけ、宵祭は終了します。

絢爛豪華な朝祭

翌24日の朝祭は、宵祭からがらりと模様替えした津島五車の車楽舟が、旧市江村（現在の愛西市）の市江車を先頭に計6艘となつて登場します。それぞれの屋台上に能の五番組の出し物を模した能人形の「置物」を乗せ、楽を奏でながらゆつたりと進み漕ぐ様は絢爛豪華です。

中之島付近に漕ぎ進むと、市江車から布鉾を持った未婚の男性10人の鉾持が、水しびきをあげながら次々に池に飛び込み、御旅所まで泳ぎ渡ります。御旅所の神輿に拝礼し、津島神社まで神輿還御の先祓いとして走り、拝殿前に布鉾を奉納します。

奉納された布鉾から滴る水を患部に塗ると、たちまち癒えるとの言い伝えがあり、今でも多くの方が集まります。

御旅所に着岸した6艘の車楽舟からそれぞれ稚児を中心に下船し、御旅所に詣でた後、津島神社本殿まで還御する神輿と共に行列する様は、優雅な絵巻物の様です。

到着後、拝殿において神前神楽奉納と稚児盃事が行われ、朝祭は幕を閉じます。



▲御輿還御